

ごみ・リサイクル通信

vol.
52

品川区清掃事務所

事業係

☎ 03-3490-7051
FAX 03-3490-7041

資源循環推進係

☎ 03-3490-7098
FAX 03-3490-7041

充電式電池類が原因と見られる 火災が発生しました

品川区内で集められた資源プラスチックを中間処理している工場で、令和6年12月21日(土)に火災が発生しました。今回は、初期消火で火を消し止めることができたため、職員のケガや施設の大きな故障につながることはありませんでした。

消防の検証の結果、「バッテリー類の混入が原因ではないか」との話がありました。



バッテリー類と思われる
ものが出てきた

令和6年12月31日(火)、燃やすごみを収集している職員から、積み込んだごみから焦げた臭いがするという連絡がありました。煙や火は見られませんでした。念のため安全な場所でごみを開け放水を行いました。開けたごみからは右の写真のように灰のようなものが見られました。また、焦げた電極のようなものが同時に発見されました。

職員のケガや清掃車の破損等はありませんでした。



事故を防ぐため、みなさまには改めて分別のご協力をお願いします。

小型充電式電池の捨て方は次のページ ➡

回 覧									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

充電式電池類は陶器・ガラス・金属ごみで出せます

令和6年9月から、充電式電池とその使用製品は「陶器・ガラス・金属ごみ」で出すことができるようになりました。充電式電池を「陶器・ガラス・金属ごみ」で出す際は、他の品目とは一緒にせず、充電式電池だけをまとめて「充電電池」と表示して、朝8時までに決められた場所に出してください。

また、毎月第2・第4土曜日の午前10時～正午に小学校等区内31か所で行っている「拠点回収」でも回収しております。

※品川区役所・品川区清掃事務所の受付時間中は、常設の充電式電池回収ボックスもご利用いただけます。

月に2回の陶器・ガラス・金属ごみで出す



他のごみとは別の袋に分けて「充電電池」と表示してください
充電電池が内蔵された小型家電も回収対象になります。



朝8時までに
決められた場所に出してください。

主な対象製品(例)

Li-ion(リチウムイオン電池)・Ni-Cd(ニカド電池)・Ni-MH(ニッケル水素電池)などがあります。

充電式電池を内蔵した小型家電機器



電子タバコ・シェーバー
ハンディファン・電動歯ブラシ



電動自転車、コードレス掃除機、
携帯電話などでも使用されています。



タブレット・スマートフォン



膨らんでいるもの
破損しているものでも収集します。

清掃車や工場で火災の原因となるので、燃やすごみや資源には出さないようお願いします。

お問い合わせ 品川区清掃事務所 事業係 ☎ 03-3490-7051 FAX 03-3490-7041

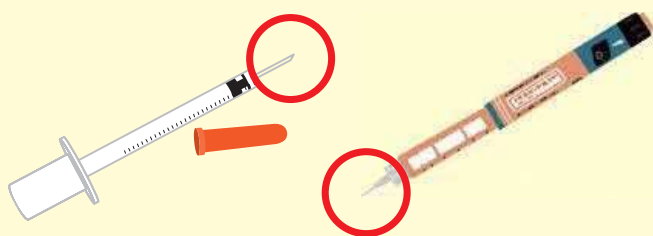
資源に出されて困っています

おむつ → **燃やすごみ**に出してください



回収された資源は、コンベアで流し、手で選別しています。使用済みおむつが資源に出され、コンベアに流れてしまうと、手選別作業の中断や設備の故障にもつながる場合があります。

在宅医療で使用した注射針 → 処方された医療機関に返却する、もしくは「**使用済み注射針回収薬局**」に出してください



「使用済み注射針回収薬局」の看板

在宅医療により不要になった注射針をごみとして出したり、ペットボトルに入れて資源ステーションに出される方が後を絶ちません。収集や中間処理施設では手で作業を行っています。職員の手に針が刺さる事故を防ぐため、資源やごみに出さないでください。

※未使用であっても資源やごみに出さないでください。



中間処理施設では手選別を行っています



ペットボトルいっぱい詰められた注射針

カラスに荒らされないごみの出し方

例年4月～6月はカラスにごみが荒らされる被害が多くなります。
カラス被害を防ぐためには、以下の3つが重要です。

ごみ袋の外から生ごみが見えないようにする

カラスは臭いではなく、目で見て生ごみを狙うと言われています。



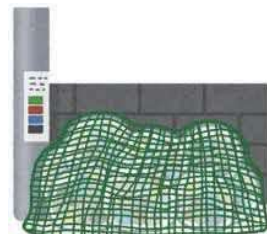
蓋付きのごみ容器を使用する

カラス以外の動物による被害も防ぐことができます。



カラス除けの防鳥ネットを活用する

集合住宅など管理してくださる方がいる場合は品川区清掃事務所で防鳥ネットの貸出を行っています。



ご相談は品川区清掃事務所 事業係までお問い合わせください。

お問い合わせ 品川区清掃事務所 事業係 ☎ 03-3490-7051 FAX 03-3490-7041

インクカートリッジ里帰りプロジェクト (インクカートリッジの回収)にご協力ください

インクカートリッジ里帰りプロジェクトとは？

使用済みインクカートリッジの回収から再資源化までのリサイクル活動を推進するため、ブラザー、キヤノン、エプソン、日本HPの4社が共同で運営するプロジェクトです。回収後はメーカーごとに仕分けを行い、各メーカーが責任を持ってリサイクルします。

※プリンターメーカー4社の純正品が回収対象です。

品川区内では、地域センターや体育館、郵便局等34カ所の施設に専用の回収ボックスを設置し、家庭用インクカートリッジの回収を行っています。

回収場所は、インクカートリッジ里帰りプロジェクトホームページでも検索できます。

品川区内の回収場所一覧(令和7年2月7日時点)

1 品川区役所本庁舎	12 荏原第四地域センター	24 品川図書館
2 品川第一地域センター	13 荏原第五地域センター	25 総合体育館
3 品川第二地域センター	14 八潮地域センター	26 戸越体育館
4 大崎第一地域センター	15 五反田文化センター	27 品川郵便局
5 大崎第二地域センター	16 荏原文化センター	28 荏原郵便局
6 大井第一地域センター (南大井文化センター)	17 東品川文化センター	29 大崎郵便局
	18 旗の台文化センター	30 品川区役所前郵便局
7 大井第二地域センター	19 品川区清掃事務所 品川庁舎	31 南品川一郵便局
8 大井第三地域センター	20 品川区清掃事務所 荏原分室	32 品川中延五郵便局
9 荏原第一地域センター	21 中小企業センター	33 品川小山三郵便局
10 荏原第二地域センター	22 荏原保健センター	34 品川八潮郵便局
11 荏原第三地域センター	23 品川区消費者センター	

こちらのボックスで回収しています。



インクカートリッジ里帰りプロジェクトホームページより

特殊詐欺被害 急増中！

偽警視庁・偽〇県警による詐欺電話（～手口）



その電話…本物ですか？

① 携帯電話に着信（偽警察）

国際電話（+で始まる着信番号）

【犯人の声】

あなた名義の・・・

預金口座・携帯電話 が、
〇〇事件で使用され、あなたは
容疑者として浮上している。
〇〇県警まで出頭してほしい。

（※不安を煽る）

② ビデオ通話への誘導

偽造逮捕状（画像）等の送信
（※更に不安を煽る）

③ 振込の指示

【犯人の声】

あなたの口座にある預金が、
犯罪資金であるか調査する。指
定口座に振込を。確認後速やか
に返金する。→ 被害発生！

～送信される偽造逮捕状（画像）例～



「確認（相談）」に間違いはありません！

いつでもご連絡を！常時受付中！

警視庁品川警察署 生活安全課（特殊詐欺担当）

03-3450-0110（内2613）



METROPOLITAN VOLUNTEER FIRE CORPS



荏原消防団本部

令和7年荏原消防団始式

阪神・淡路大震災から30年 首都直下地震への備えを誓う



令和7年1月12日(月)に、荏原消防団始式がスクエア荏原にて挙行されました。
式には、品川区長をはじめ多くの来賓の方々に御列席いただき、御祝辞を賜りました。

表彰者等

消防総監表彰 功績表彰

第五分団 分団長 宮島 玄次郎
第三分団 副分団長 大友 弘
団本部 副分団長 塚原 ひとみ

優良表彰

第一分団 部長 村田 信治
第一分団 部長 古屋 文子
第二分団 部長 大倉 考裕
第二分団 部長 今井 由香
第二分団 部長 伊藤 直人
第二分団 部長 長南 弓子
第三分団 部長 渡部 茂
第六分団 部長 渡邊 信征

五十年勤続表彰

第七分団 部長 飯塚 哲郎

防災訓練指導に関する業務功労

団本部 副団長 鈴木 満
第二分団 部長 金子 佳弘
第二分団 部長 小西 久
第三分団 部長 角 只彦
第五分団 部長 長内 徹夫

防災部長表彰

防災訓練指導に関する業務功労

団本部 副団長 稲葉 文江
団本部 副団長 伊城 宏一
団本部 副団長 塚原 ひとみ
第一分団 部長 剣持 淑文
第一分団 部長 石原 明美
第二分団 部長 今井 由香
第四分団 副分団長 葛西 武志
第五分団 分団長 宮島 玄次郎

第二消防方面本部長表彰

第52回東京都消防操法大会優秀選手

第四分団 副分団長 葛西 武志
第四分団 副分団長 小林 秀登
第四分団 副分団長 若林 仁
第四分団 副分団長 安蔵 繁陽

防災訓練指導に関する業務功労

第一分団 副分団長 武藤 永俊
第一分団 副分団長 村田 信治
第一分団 副分団長 古屋 文子
第二分団 副分団長 堀井 淳
第三分団 副分団長 白井 正男
第三分団 副分団長 岩見 純一
第四分団 副分団長 飯田 和久
第五分団 副分団長 水島 洋子
第五分団 副分団長 濱井 乙彦
第六分団 副分団長 廣澤 晴子
第七分団 副分団長 竹山 繁和
第七分団 副分団長 安達 静江
第七分団 副分団長 清水 一雄

品川区長表彰

優良団員

第一分団 副分団長 藤野 英登志
第二分団 副分団長 大倉 考裕
第二分団 副分団長 米沢 恵美
第三分団 副分団長 古澤 智史
第三分団 副分団長 近藤 昇久
第四分団 副分団長 清水 博康
第四分団 副分団長 野木 克義
第五分団 副分団長 大崎 太介
第五分団 副分団長 吉田 玲奈
第六分団 副分団長 竹山 繁和
第六分団 副分団長 熊谷 太助
第七分団 副分団長 杉山 智
第七分団 副分団長 井上 伸孝

荏原消防署長表彰

年間優良分団
第二分団 副分団長 川合麻衣子様
第五分団 副分団長 石塚 征男様

入団促進優良分団

第七分団 副分団長 溝口 彰
第三分団 副分団長 石田 泰之
第一分団 副分団長 佐野 則子

優良団員

第一分団 副分団長 湯澤 一貴
第二分団 副分団長 小林 秀登
第四分団 副分団長 若林 正晃
第七分団 副分団長 西山 健次
第一分団 副分団長 金子 雅生
第二分団 副分団長 古宮 隆広
第三分団 副分団長 羽田 和広
第三分団 副分団長 泉 清文
第三分団 副分団長 辻 清吾
第五分団 副分団長 堤 泰寛
第六分団 副分団長 宮崎 謙一

荏原消防団長表彰

優良団員

第二分団 副分団長 石川 詩織
第四分団 副分団長 菊地 貴子
第六分団 副分団長 結城 水香
第七分団 副分団長 佐藤 悠記
第七分団 副分団長 東浦 悠記

勤続三十五年家族感謝状
第一分団 副分団長 石井 朋敬
第一分団 副分団長 石井 明子様
勤続十五年家族感謝状
第一分団 副分団長 石原 明美
第二分団 副分団長 石原 美紀様
第二分団 副分団長 古宮 隆広
第四分団 副分団長 古宮 智子様
第六分団 副分団長 葛西 武志
第六分団 副分団長 葛西 明章様
第六分団 副分団長 川合 隆
第六分団 副分団長 川合 麻衣子様
第六分団 副分団長 石塚 征男様

令和6年度 品川区三消防団 合同点検

令和6年11月17日（日）、区立しながら中央公園にて、品川区三消防団（品川・大井・荏原）の合同点検が開催されました。本点検は、日頃の訓練成果を確認し、地域住民の皆さまに消防団の活動を知っていただく貴重な機会です。当日は、多くの来賓の皆さまにもご臨席いただき、消防団員の精強な姿が披露されました。



AEDを使用した救命処置



クレーン車による障害物撤去

震災活動訓練の概要

点検は、開始宣言と人員報告に続き、震災活動訓練へと進みました。今年の訓練では「首都直下地震」を想定し、消防団の役割を具体的に示しました。

「出動行動」では、防火服を着た団員が迅速に対応。「道路啓開活動」では、クレーン車やチェーンソーを用いて倒壊建物を撤去し、救助経路を確保しました。「救助活動」では、住民の救出と応急手当を実施。担架搬送やAEDを用いた救命処置を行いました。

「自主防災組織との連携消火活動」では、大井消防少年団や地域住民と協力し、消火器を使った初期消火や可搬ポンプ積載車による本格的な消火訓練を実施。消防団と地域の力を結集した一斉放水は、災害時の実戦を想定したものとなりました。



チェーンソーを使用した倒壊建物からの救助活動

未来へつなぐ消防団

消防団は、地域に根差した防災・減災の担い手です。火災や地震などの災害時に迅速に対応し、平時には地域住民と連携して防災意識を高めています。今回の合同点検を通じ、多くの方に消防団の活動意義を知っていただけたのではないのでしょうか。

「自分たちの街は自分たちで守る！」——この精神のもと、荏原消防団はこれからも訓練を重ね、地域の安全に貢献してまいります。消防団員の活動に関心のある方は、ぜひ入団をご検討ください。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



地域住民とともに一斉放水

知っていますか？

消防署と消防団 役割と活動の違い

消防署と消防団は、共に火災や災害から地域を守る役割を担っていますが、その仕組みや活動内容には違いがあります。

消防署とは？

- ・職業消防士が常駐し、24時間365日体制で消防・救急業務を担う。

- ・消火活動だけでなく、救急救命や災害対応も実施。

- ・消防車や救急車を配備し、迅速な出動が可能。

消防団とは？

- ・地域の住民がボランティアとして参加し、普段は本業を持ちながら災害時に出動。

- ・火災発生時の初期消火や防災訓練、地域の防火啓発を担当。

- ・報酬はあるが、専業ではなく「地域を守るための組織」。

消防署と消防団は、それぞれの特性を活かしながら協力し合い、地域の安全を守っています。

消防団員募集

荏原消防団では、一緒に「我が町を守る」仲間を募集しています。
18歳以上、健康で荏原消防団管轄区域内に居住または勤務、通学している方。